



「企業や市民等と連携した地産地消の展開」

神奈川大学の学生たちと一緒に地産地消！

「みなとみらい農家朝市 秋の恵み大収穫祭」を開催します！

横浜市では、神奈川大学経営学部（みなとみらいキャンパス、^{まなべあきひろ}真鍋 明裕 学部長）の実践型授業「マネジメント体験プログラム」の一環で、学生と協力した取組を行っています。

このたび、学生4名と一緒に、高島中央公園（西区みなとみらい5-2）で「みなとみらい農家朝市 秋の恵み大収穫祭」を開催します。

朝のお散歩がてら、横浜の農の魅力にふれてみませんか？

※ イベント開催日は、イベント終了後、学生や農家へのインタビューが可能です。



神奈川大学経営学部の学生4名

開催概要

令和5年 **11月26日** (日) 9時～10時30分 | **高島中央公園** (西区みなとみらい5-2)

新鮮な横浜野菜・加工品等の販売(売り切れ次第終了)



4戸の農家が新鮮・おいしい・めずらしい横浜野菜を販売します。

何を買おうか迷ってしまったら、ぜひ農家にお尋ねを。

今回は、野菜以外にもドレッシング・サラダ等の加工品等も販売予定です。

野菜のタネでキーホルダーづくり(先着50組)



作品例

UVレジンと野菜のタネを使って、オリジナルキーホルダーを作れるこのワークショップでは、大学生が講師として作り方を教えてくれます。

野菜のタネは農家から使用しなかったもの等を提供してもらいました。

野菜のうまみ教室(限定30組)



野菜のうまみや地産地消に関する青空教室を開催します。講師は地産地消の案内人「はまふうどコンシェルジュ」が務めます。農家が育てた生の野菜とドライにした野菜の食べ比べ付。地元の野菜のおいしさを体感できます。

横浜野菜のおいしい豚汁試食(先着100名)



農家が育てたおいしい野菜を豚汁にしてふるまいます。ダイコン、ニンジン、サトイモなどの野菜に加え、お味噌も農家が作ったものを使用します。野菜のうまみがぎゅっと詰まった豚汁でお温まりください。

野菜の収穫体験(申込みは締め切りました)



農家がプランターで育てた野菜で、「農」とのふれあいが楽しめます。畑にいるときの野菜の姿を少しのぞいてみませんか？

(ダイコン、ラッカセイ、サトイモ、ゴボウ、ナガイモから2種類の野菜を収穫予定)

■ みなとみらい農家朝市

毎月第4日曜日 9時～10時30分に高島中央公園（西区みなとみらい5-2）で開催されている朝市で、横浜のとれたてで新鮮な野菜や果物を、横浜市内の5戸の農家が直売しています。開港150周年を記念して平成21年に開催した「みなとみらい開港菜フェア」をきっかけに始まりました。



みなとみらい農家朝市の開催の様子

■ 神奈川大学 みなとみらいキャンパス

神奈川大学のみなとみらいキャンパス（西区みなとみらい4-5-3）は、人が集い、交流する「知の拠点」として、令和3年4月、新たに開設しました。学生たちは学部の枠を超えて、学生同士、学生と教員、周辺企業や観光客などと交流するだけでなく、街全体をキャンパスとして、横浜の街が持つ歴史や文化などを体感し、学びを深めています。

今回の授業において、学生たちが主体的に考え、実践する学びの機会を提供するとともに、学生ならではの感性や視点で地産地消を発信してもらうこの取組に横浜市も賛同し、協力しています。

■ 横浜農場



意欲的な生産者や多彩な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を農場に見立てた言葉です。

横浜市では「横浜農場」を活用し、横浜の「農」の魅力をPRしています。

※ 取材をご希望される場合は、11月24日(金)14時までにお問合せ先までご連絡ください。



横浜で初めて行う
万国博覧会

2027年3月19日～
9月26日開催

お問合せ先

環境創造局農業振興課長 田並 静 Tel 045-671-2606